

ふれまち神出通信

神出ふれあいのまちづくり

協議会委員長

神出町自治協議会会長 坂口 勤

平素は、神出ふれあいのまちづくり協議会の諸活動に対しご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

書面にてお礼申し上げます。
今年度も早いもので、上半期が終わろうとしています。

今年度も昨年度に続きコロナ禍の状況がおさまらず、演芸大会・夏祭り・運動会を中止とさせていただきます。現在、第七波がおとずれ爆発的な感染力で感染者が増え続けています。皆様方には十分にご留意ください。

昨年度から取り組んでいます「エール神出」については多数の子供たちの参加とボランティアの方々・神出中学校のボランティア隊のご協力を得て楽しいひと時を過ごしていると思っています。
8月7日(日)には昨年度同様に神出町公園で「七夕祭り」を開催させていただきます。子供たちの楽しそうな顔が印象的でした。また、神出中学校のボランティア隊



ふれまち神出通信発行団体
神出ふれあいのまちづくり協議会

西区神出町田井三四一二
地域福祉センター

発行責任者 坂口 勤
編集者 浅原 康行

のギター演奏、神出中学校吹奏楽・神出楽団の演奏が素晴らしく感動しました。特に、ボランティア隊は結成して数か月と聞き驚かされました。
新型コロナウイルスが発生してから3年、神出町の諸行事伝統行事が縮小又は中止となりました。重ねて少子高齢が特に如実に現れている神出町において、今後いろいろな活動を継承するための担い手づくりが課題かと思えます。特に、子供たち・若者への経験づくり・技術・技能の継承を積極的に進める必要があると感じています。そのためには神出町一体での取り組みの必要があると思えます。
先輩方々の経験と知恵、若者・子供たちの元気を力を合わせて、神出町の活性化・賑わいづくりに取り組んでいきたいと思えます。3年間のブランクはなかなか厳しいものがあると思えますが、皆様方のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国的な異常気象による災害発生、猛暑の中の熱中症、先の見えない新型コロナウイルス感染症ですが、感染対策他を行い、体に分気を付けてお過ごし下さい。

令和四年神出支団の取組みについて

西消防団神出支団副支団長 松村 正己



いつもお世話になり、ありがとうございます。
さて令和四年新年度を迎えまだ新型コロナウイルス感染が収まらない中、今年も神出支団の行事、表彰及びポンプ操法大会が中止になりました。
今年度は新しく七人が団員に任命されました。
新しく任命された消防団員は七月二日に神戸市消防学校にて行われる消防団基礎教育研修に先立ち、六月二十六日に神出出張所で六田支団長始め本部役員による事前研修を行いました。事前研修では消防団員の心得、訓練礼式、無線機の取扱い及び交信、ホースの取扱い、ポンプの取扱い、放水訓練、土のう作成方法、土のう積み工法等について指導を受けました。
毎月1日に正副分団長会議、第二日曜日に午前十時から受令機・トランシーバーのテスト、午前十一時から緊急システム吹鳴テストを支団本部と

各班詰所にて行っています。

今年には神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会が十一月十三日予定されています。神出支団からは小東野班が出場します。大会に向けて九月四日から早朝六時〜八時に訓練を行なっています。毎日曜日コロナ感染防止に十分に気をつけて訓練をし、優勝を目指します!!

天気が変わりやすい季節です。急な大雨・雷・突風には十分注意し、事前にできる身を守る対策を取っていただくようお願いいたします。

皆様の生命・財産を守り、安心・安全のためにご支援ご協力をよろしくお願ひします。



神出かたこ会連絡協議会

会長 西馬浩三

平素は何かとお世話になっていきます。

神出かたこ会は、「みんなと、元気に、楽しく」高齢期を歩んでいきたいと活動しています。

かたこ会は、かつては各地区にあつて十六のクラブが活動していましたが、来年度には二クラブのみとなろうとしています。

八十年代、九十年代の方を含めてグラウンドゴルフや

輪投げの競技、あるいは、作品の発表・交流を楽しんでいます。

単位クラブは、市老人クラブに所属し、市の協議会などに参加するか、単位クラブのみで活動するか、あるいは市老人クラブに所属しないで市内の競技参加などを可能にする新たな組織を作るか。各地区での検討、協議会での検討が進められています。

会員が生き生きと活動できるような活動を考えたり、やめた方がいい活動があったら思い切ってやめて、身軽になるのも大切かと思ひます。

神出の高齢者が若々しく長寿を全うできるように、皆様のご指導で良い方向を考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

民生委員児童委員協議会(民児協)の近況

神出地区民生委員児童委員協議会

会長 正井 樹

日頃からの民児協関係活動へのご協力・ご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

コロナ禍となつて三年目ですが民児協行事はほとんど実施出来ています。乳幼児対象の子育てひろば「かんでっ子」では毎月実施出来ています。

五月の自然教育園でのじゃがいも掘り、六月の七夕飾りでは短冊に願ひごとや自分の名前や絵を書き笹に結びました。七月の水遊び手形・足形ではプールで水遊びのあ



じゃがいもほり

と手足にインクを塗り名前を書いた台紙に手形足形を付けました。毎月第三水曜に児童館(九月・十月以外)、自然教育園(九月・十月)で実施しています。皆さん大変楽しそうに参加されています。乳幼児親子の方々の参加よろしくお願ひします。



七夕祭り

ひとり暮らしの高齢者対象の「ふれあい会食会」(毎月第一火曜)は毎月実施しています。ただし、また、完全調理は出来ず購入した弁当と一部調理したものを提供しています。密にならないため教室形式のテーブルの配置としています。参加者のうち希望者は神出の四つの老人施設の送迎付きです。七月の食事後のレクリエーションではボランティアグループの「うらしまたろう」さんの南京玉すだれや銭太鼓に見入っておられました。どなたでも参加できる「ふれあい喫茶」は鍋焼きうどん等のすぐ調理できる食品におにぎりや青野菜の和え物やフルーツ等を提供しています。密にならないため壁・窓・人の背中を見てのテーブルの配置となっています。



南京玉すだれ



会食会食事

「よく学び、共に生きる生徒を育む」
 神戸市立神出中学校
 校長 長井 功

いつも生徒たち温かく見守りくださり、感謝申し上げます。新型コロナ第七波にあつて、連日多数の感染者が報告される中、殆どの生徒たちは元気に学校生活を過ごしています。

夏休みに入ってから、「部活動」は勿論、「学習会」や「水泳講習会」に積極的に参加しており、毎日、元気な生徒たちと出会っています。また、今年から小学校と連携し、地域活性化事業の一環として「神出っ子ボランティア隊」を発足させました。「Be kande」の文字の入ったポロシャツを着た生徒たちが、神出児童館での行事や神出地域福祉センターでの「エールかんで」に参加しています。今後も神出町の地域行事に出向きたいと思っていますので、是非、お声をかけてください。宜しくお願いいたします。

また、神出中学校では、今年度も『神出オアシス』：「おはようございます」と挨拶、「ありがとうございます」と挨拶、「しあわせだなあ」と感謝、「すみません」といい言葉、「すみません」と継続してやろう、をスローガンに学校運営をしています。子どもたちが、愛する神出で育っていることを誇りに思えるよう、教育したいと思っています。コロナの状況にもよりますが、今後とも、中学校に足を運んで生徒たちにエールをいただきますよう、宜しくお願いたします。



令和四年度 ご挨拶および近況報告
 神出中学校 PTA会長 萩原 誠

日頃よりPTA活動に、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。やっと新型コロナウイルスが下火になってきたと思っていたところ、第七波という今まで以上に感染力が強いウイルスで、皆様におかれましても感染予防が大変かと思えます。

いつになったらマスクを外した子供たちの笑顔が見られる日が来るのか？ほんと早く収束してほしいですね。

PTAと致しましては、感染予防を実施しながら、学校側と協調をはかり年間行事に取り組んでおります。

これからも多々ご迷惑をおかけすると思いますが、本役員様、運営委員様をはじめ保護者様・教職員様、そして地元の皆様にはフォロワーして頂きまして精一杯務めさせて頂く所存でございます。

毎年恒例になりました、七夕祭りでの吹奏楽部の演奏ですが、生徒をはじめ教頭先生・顧問の岡屋敷先生・OBの方や神出楽団の方と披露できたこと、普段の練習の成果を皆様の前で披露できること、ほんとにありがたいと思えます。

また、今年からボランティア隊として、福井先生のご指導の下、生徒たちが短い時間の中で楽器を練習して、皆様の前で披露できたことも、ほんとうにいいことだと思えます。

皆様の声援が生徒たちの励みにもなります、これから応援のほどよろしくお願い致します。

文化祭では、PTA行事として「野点(のだて)」を予定しております。

あまりお抹茶を飲む機会がない方も、ぜひ生徒たちと一緒にいかがでしょうか？普段見られない子供たちの顔が見られるかもしれませんよ。

お越しの際は、マスク・消毒等のご協力・対策をお願い致します。

最後になりましたが、今後ともご理解・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



グローバル化の未来へ

神戸市立神出小学校長 中山 雅仁



これからの社会は、知識に国境はないためグローバル化が進み、その知識は日々進化し、技術革新や競争が絶えず続いていきます。知識の発展は従来の価値観を転換することが多く、柔軟な思考力と豊富な知識を基礎とした判断が重要となってきます。そのため、アイデアなどの知識や人材を巡って国際的な競争がより激しくなるそうです。また、異なる文化との共存や国際協力がより必要となってきます。このような世界の中で活躍できるように、本校では今年度「グローバル化にむけての育成」に取り組んでいます。

取り組みの一つとして、高学年の外国語の授業を神出中学校の英語の先生に進めてもらっています。九月十六日には神出自然教育園に出掛け、英語を使って活動する「イングリッシュキャンプ」に全校生が参加する計画をしています。

子供たちには自分の力を発揮し活躍するための基本的な知識・技能を身に付け、その知を活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等を備えてほしいと考えています。

また、グローバル化社会には「共存・協力」の姿勢も必要になってきます。国や社会の間を情報や人材が行き交い、相互に密接・複雑に関係する中で、様々な課題に協力しながら対応することが必要です。

そこで、金子みすずさんの詩の最後の部分の「みんなちがって、みんないい」という部分がグローバル化にあっているように思います。すずも、小鳥も、わたしも、みんなちがっています。その違いがあるから良いということ。「あなたは、あなたでいい」「じぶんが大切ですよ」という意味です。十人十色というようにそれぞれの持つ価値観が違います。グローバル化が進展する現

代には自分と異なる考え方にも関心を持つことが大切だと思います。どんな相手にも尊敬の気持ちをもって誠実に向き合う姿勢をもってほしいと思います。柔軟で幅広い感覚をもった人でいてほしいと思っています。自分の意見をしっかりと持ち、発信するとともに、他者理解ができ、受け入れられる力をつけることが大切になります。そのためにも、まわりへの思いやりや感謝の気持ちを持つことを忘れないでください。やさしくて温かい、お互いを思いやる気持ちにあふれた本校の校風をこれからもしっかりと継承してほしいと思います。



忘れることは悪くない

神戸市立神出小学校 P T A 会長 本郷 雅敏

ある偉い人は言った。「忙しい」とは「心」を「亡くす」と書いて忙しいと読む。では同じように「心」と「亡」を使う、「忘」という漢字の場合はどうなんだろう？

まず亡と心、それぞれの意味を考えてみる。「亡くす」には生命や物質を、不可逆に失う意味が感じられる。それに対して「心」は気持ち、思いの方向、意志の力、状態やベクトルのイメージ。可変で柔軟でやわらかい。

次に語順。漢字は基本的には上から下に読む言語で、各要素が置いてある位置には意味があるはず。そこで、置き位置と時系列には関係性があると仮定してみる。

『忙』の場合、心と亡が横並びになっているから、「心」が「亡」となり、心を亡くしたタイミングは「忙しい」と語っている時刻と同じと考えてよさそう。それに対して、『忘れる』の場合、「亡くした心」つまり、一時的なものではなく、結果または過去を表す意味合いが強そう。『忘』とは過去進行形の今であり、受け入れざるを得ない事実。思い描いていた方向を間違えた、心を失って既成化された現実。

どうやら忘れることに、プラスのイメージはないらしい。けど、本当にそうだろうか？

過去のこと縛られて、身動きとれないぐらいなら忘れた方がいいに決まっている。時に事実が、見たくもない過去が、今もそこに横たわるように感じることもあるかもしれない。そんな時は解釈を変えてみる。時にポジティブは事実を歪める。けど、その何が悪い？

今を生きる、明日の一步を踏み出す、勇敢な貴方に幸あれ！



工作 踏み台作り



工作 完成品



食事風景

子どもの居場所づくり事業
「エールかんで」について
 神出ふれあいのまちづくり協議会（エールかんで）



神出の子どもたちを対象に、食事の提供や学習支援（宿題中心）、遊びの場としての居場所づくりを行うと共に、地域のあらゆる世代とつながり、子どもたちの育ちを支援することを目的として「ふれあいのまちづくり協議会」の中に「エールかんで」を設立して活動しています。

今年度は7月に募集をしたところ20名の定員一杯の応募がありました。夏休み5回、冬休み2回、春休み2回を予定しています。夏休みの目玉は工作で田井の松村さん親子の指導のもと立派な踏み台が完成しました。松村さんありがとうございました。また、中学校のボランティア隊もお手伝いをしてくれました。食事食材を提供して頂く

ころがあり焼肉定食、カレー、牛肉丼等を提供できました。ありがたく思っています。冬休みは習字、しめ縄作りを予定しております。



神出あんしんすこやかセンター

センター長・主任介護支援専門員
 守口 博康

平素は、あんしんすこやかセンターの業務に關しご理解とご指導を賜りありがとうございます。あんしんすこやかセンターは、高齢者の総合相談窓口として、今回は、「地域ケア会議」のお話しをしたいと思ひます。

「地域ケア会議」は高齢者の皆さんが住み慣れた地域で暮らしを続けられるように、地域の中でできる事を話し合う場を「地域ケア会議」と呼びます。

高齢者が1人では解決できない困りごとを地域や専門職を含めて皆で解決していくために話し合う場として、神出町でも地域の集会所や地域福祉センター等で開催しています。参加者は自治会や民生委員など近隣住民の方・医療・介護の専門職・警察・司法書士・行政・学校等と幅広く参加頂きます。「地域ケア会議」には、困りごとの解決方法を考え同じような困りごとを抱えた高齢者がいないか地域の課題を発見し神戸市の新たな施策につなげる働き等があります。

地域ケア会議が必要な理由としては、令和22年（2040年）には75歳以上の高齢者が29万人を

超え介護が必要な方が増える可能性が高く、一人暮らしや認知症の高齢者が増える可能性が高く、みんなで支え合う仕組みが必要になってきます。

今回も、7月15日（金）にJA兵庫南神出支店さんにもご協力頂き、ふれあい会館で開催とさせて頂いた頂きました。「こども・若者ケアラーについての現状」という内容で、22名の方が参加して頂きました。この度は、コロナ禍のため、話し合いを行う事は自粛し講義形式で行いました。こども・若者ケアラーに關しての情報共有ができた良い会となりました。

今後も、年に数回程度は、行いたいと考えております。ご協力よろしくお願ひいたします。



新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『ごみの捨て方』に沿って、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

①ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりしばります。



③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

- 『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。
- ごみを捨てる際は自治体のルールに従うとともに、ポイ捨ては絶対にやめましょう。使用済みのマスク等のごみを捨てる際にも、『ごみの捨て方』を参考に、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことに注意しましょう。